



日塗工 整理No.(日塗工記入)		2016-52		労働災害状況調査表				
発生会社 事業所								
災害発生日時		2016年 8月23日(火) 16時20分頃 天候(晴れ) 温度(35℃) 湿度(50%)						
災害区分		不 休 災害		休業災害(休業:日)		赤チン災害		
被 災 者	部門	製造部門		雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他()				
	年齢	44歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数	23年4ヶ月	経験年数	1年	
	傷病名	病名 右眉、眼瞼部切創						
	傷病部位	右眉部分						
災 害 発 生 状 況	部署内応援の作業員(被災者)が、缶詰充填の蓋閉めの手伝いに行き、充填した缶をコンベヤーに流し、エア式エレベーター昇降途中の上部アングルに缶が引っ掛かり、挟まった状態で停止した。その引っ掛かりを外そうとしたところ、エレベーターが勢いよく上昇し、乗っていた缶が顔面右眉部分に当たり、4cm程度の切創を負った。			状況概略(写真orイラスト)				
								
								
				<p>←コンベヤー</p> <p>引っ掛かり部分</p>				
	災害の型 ^{*1)}		3 激突(当たる)		作業の形態: 定常、 <u>非定常</u> 、その他()			
	起因物:		エア式コンベヤーエレベーター		特記事項:			
原 因 分 類	1.人的要因(man)							
	異常発生時の処理手順の教育不足と、暑さによる集中力低下。							
	2.物に関する要因(machine)							
	引っかかりを仮補修(プラ板張り付け)のまま放置し、さらにそれが劣化した事。							
3.環境要因(media)								
安全手順教育がされていなかった事、スポットクーラーのダクト位置が不適切であった事。								
4.管理的要因(management)								
応援者に作業手順の教育が行われなかった事。								
対 策	1.人的要因; 被災者及び関連課員へ異常時の安全対処手順を教育した。							
	2.物に関する要因; 引っ掛かりに対して鉄板を固定して処理し、顔が入らない様に囲いを取り付けた。							
	3.環境要因; スポットクーラーのダクト位置を変更した。							
	4.管理的要因; 作業のリスクアセスメントを実施して教育すべき内容を確認し、安全作業教育を行った。							
対策分類 ^{*2)} :		1-4. 安全設計、1-6. 教育、2-4. 危険認識						

*1) ①から選択

*2) ②から選択(複数可)